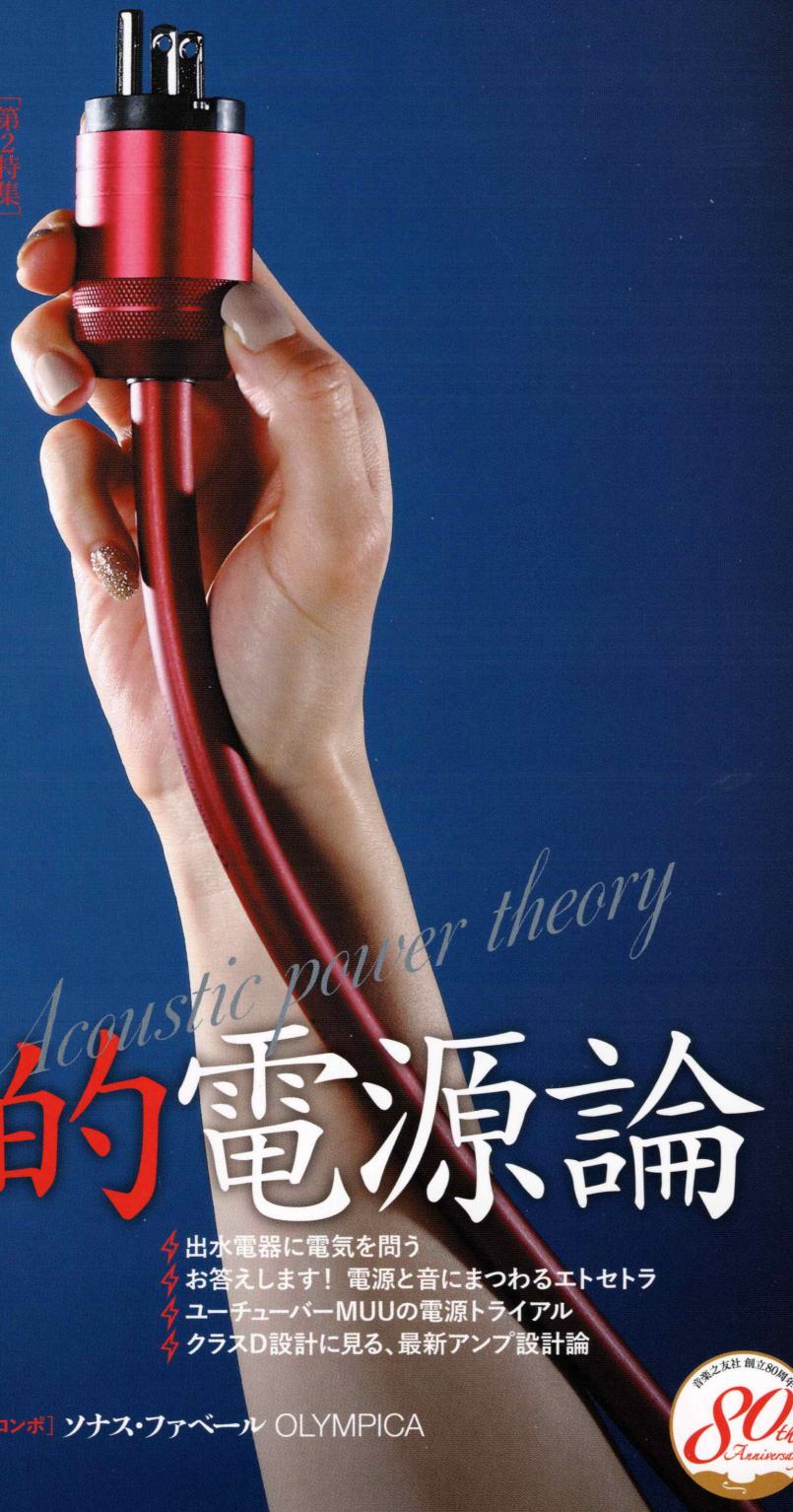


オーディオの総合月刊誌 ステレオ

# stereo

2021  
04

〔第2特集〕  
第11回 自作スピーカー  
コンテスト結果発表！



- ⚡ 出水電器に電気を問う
- ⚡ お答えします！ 電源と音にまつわるエトセトラ
- ⚡ ユーチューバーMUUの電源トライアル
- ⚡ クラスD設計に見る、最新アンプ設計論

〔グレートコンボ〕ソナス・ファベール OLYMPICA

# ハブからストリーマー間で実験 過渡特性が向上し現場に在った空気感、 臨場感が向上するイーサネットケーブル

文・鈴木 裕 Yutaka Suzuki

Hidden Treasure Cat7 Ethernet Cable ¥110,500~

オーディエンス

イーサネットケーブル



## S P E C

形式 ● Cat7ケーブル  
線材 ● 23AWGソリッド銅  
長さ ●  
¥110,500/1.0m、¥130,000/1.5m、  
¥149,500/2m  
(0.5m ¥19,500で特注可能)  
問い合わせ先 ●  
オーディエンスジャパン株  
Tel.0467-88-3611

## 才

オーディエンスはアメリカのメーカーで、その歴史は1972年にまで遡る。フルレンジのユニットとパッシブラジエーターを組み合わせたスピーカーや各種ケーブル類、電源コンディショナーなどを開発、製造している。主宰するジョン・マクドナルドにインタビュートしたものもあるが、音楽好きのオーディオ好きで、とてもフレンドリーな人柄だった。その新しい製品のひとつがLANケーブルだ。RJ-45の端子を持つた、カテゴリー7のイーサネットケーブル。

仕様を短く紹介すると、導体は23AWGの単線の銅をツイストペアにしたものが4組。シールドはEMI、RF、そしてルーターやハブなどのシステム自体のノイズやクロストークにも留意したものであるという。曲げてみると確かに張りのある感じで、单線と縦り線の中間ぐらいいの感触を持つたケーブルだ。太くないがしっかりした造り。端子も定評のあるメーカーのもののように見える。

テストは拙宅のシステムで行

つた。スイッチングハブからストリーマー（ブルーサウンドNODE2i）の間に接続している。

今回、50cmもの（実測すると端子の端から端まで64cm）と2mの両方を聴いたが、まず印象的なのはそのエネルギー感の強さ。密度が高く、実体感の強い再生音だ。傾向としてはつきり、くつきりと音像を描き、音の輪郭が明確。音の抜けもいい。クラプトンの『アンブレード』での拍手はよくほぐれ音色の再現性も高い。拍手 자체に人の掌の感触があるが、同時にアコースティックギターやメタル系のパーカッショーンはそれぞれの質感をきちんと感じさせてくれる。SN比感もかなりよいが、2mの方が静かな感じの表現は上手だった。立ち上がりのトランジエント（過渡特性）もけつこういい。現場に在った空気感、臨場感が出てくる度合いも高かった。

この分野のケーブルとして注目すべき製品に感じられた。